

脇之島小学校屋内運動場外壁等改修工事

設計図書

図面番号	図面名
A - 1	タイトル 図面リスト
2	建築工事特記仕様書 1
3	建築工事特記仕様書 2
4	建築工事特記仕様書 3
5	建築工事特記仕様書 4
6	建築工事特記仕様書 5
7	仕上表
8	付近見取図
9	配置図 仮設工事計画図
10	1 階平面図

図面番号	図面名
A - 11	吹抜平面図 屋根伏図
12	南側・東側立面図
13	北側・西側立面図
14	天井伏図
15	詳細位置図 部位詳細図
16	外壁調査図
17	下足入れ既設平面図、立面図、断面図
18	下足入れ計画平面図、立面図、断面図

[illegible]

3 防水改修工事	⑨ ルーフドレイン 10. アルミニウム製笠木	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 ・ 横型 部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲げ形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。 表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種 ⑪ 防水保証 アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が適定めている期間とし、保証書を作成し提出する。	4 外壁改修工事	③ 浮き部改修	○ モルタル塗り仕上げ	工 法	1箇所 の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/㎡)	注入口 (箇/㎡)	アールピン (本/㎡)	⑥ 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理	塗膜の劣化部の除去工法 ・ サンダー工法 ※ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法	処 理 範 囲 ※ 既存仕上面全体 ・ 図示	5 建具改修工事	8. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桧、鏡板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま 工法 (・ 在来型 ・ チップ型)	9. 建具用金物	金 物 の 種 類	型 式	製 造 所	10. 自動ドア 開閉装置	シリンダー箱錠 本締り付きモノロック モノロック シリンダー本締り錠 グレモン錠 ドアクローザー フロアヒンジ ヒンジクローザー ビボットヒンジ レバーハンドル 戸あたり あおり止め付き 錠前類と同一製造所 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。 マスターキーの作成 ・ 要 ・ 不要 (既存マスターキーで施錠可能とする。) 性能 ・ スライディングドア ・ スイングドア センサーの種類 ・ 光線式 (反射) スイッチ ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ ※ センサーの種類によらず補助センサー併用とする 凍結防止装置 全半開装置 ・ 要 ※ 設ける (半開幅=) ・ 設けない	11. 重量 シャッター	種 類	シャッター ケース	耐風圧 強度	開閉方式	保護装置	12. 軽量 シャッター	閉開形式	シャッター ケース	耐風圧 強度	スラットの 形状	保護装置	13. オーバー ヘッドドア	材 質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール	14. ガラス	保護装置 障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない ※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 ※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 熱線吸収板ガラス 性能 色調 ・ 1類 ・ ブルー ・ 2類 ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 性能 ・ 1種 ・ 3種 (・ U3-1 ・ 4種 ・ 5種 ・ U3-2) ・ 2種 ・ 5種 ・ 3種 ・ 4種 ・ 5種 ・ 2種 ・ 3種 ・ 4種 ・ 5種 ・ 1種 ・ A類 ・ ブルー ・ シルバー ・ 内側 ・ 外側 熱線反射ガラス 日射遮へい性 耐久性 色調 ・ 1種 ・ A類 ・ ブルー ・ シルバー ・ 内側 ・ 外側 反射皮膜 映像調整 ・ 行う ・ 行わない
	4 外壁改修工事	① ひび割れ部改修		○ コンクリート打放し仕上げ	工 法	材 料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)	④ タイル張り	○ タイル張り仕上げ	工 法		材 料	ひび割れの幅 (mm)		延べ長さ (m)	⑤ 鋼製軽量建具		改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 製 作 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 仮 組 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する (建具表による) 外部に面する建具 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、100) ・ B 種 S-5 ・ C 種 S-6 A-4 W-5 ※100 ※ 適用箇所は図示による 表面処理 外部に面する建具 ※ B-1種 ・ B-2種 内 部 建 具 ※ C-1種 ・ C-2種 B-2種、C-2種の場合 ・ ブロンズカラー (※標準色 ・ 濃色) ・ ステンカラー 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する (適用範囲は図示による) 適用する場合の遮音性の等級 ※ 適用しない ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する (適用範囲は図示による) 適用する場合の断熱性の等級 ※ 適用しない ・ H-2 ・ H-3 耐震ドアセット、耐震サッシ ・ 適用する (適用範囲は図示による) 適用する場合の面内変形 追随性の等級 ※ 適用しない ・ D-1 ・ D-2 使用方法による区分 ※外面納まりの可動式 ・ 内部納まりの開き式 防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ ステンレス (SUS 316) ※合成樹脂 防鳥網 ※ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm 外部に面する建具性能等級等 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 ・ B 種 S-5 ・ C 種 S-6 A-4 W-4 W-5 ※建具表による ※ 適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 ・ T-A種 ・ T-B種 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の断熱性の等級 ・ H-A種 ・ H-B種 表面色 ・ 標準色 (白) ・ 特注色 (・ 黒 ・ ブラウン ・ シルバー) 簡易気密型ドアセット ・ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 ・ 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 鋼 板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) ・ 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317) 建具寸法が<5.4.4(a)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ 区 分 使用箇所 厚さ (mm) 窓 枠類 枠、方立、無目 枠、方立、一般部分 戸 中骨 出入口 枠類 一般部分 上記以外 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 ・ 使用しない 戸の鋼板 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ※ カラー鋼板 標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ・ 鋼製 ※ アルミ製 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 ・ 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 表面処理 ※ H L ・ 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ	5 鋼製建具	⑦ 網戸		使用法による区分 ※外面納まりの可動式 ・ 内部納まりの開き式 防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ ステンレス (SUS 316) ※合成樹脂 防鳥網 ※ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm 外部に面する建具性能等級等 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 ・ B 種 S-5 ・ C 種 S-6 A-4 W-4 W-5 ※建具表による ※ 適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 ・ T-A種 ・ T-B種 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の断熱性の等級 ・ H-A種 ・ H-B種 表面色 ・ 標準色 (白) ・ 特注色 (・ 黒 ・ ブラウン ・ シルバー) 簡易気密型ドアセット ・ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 ・ 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 鋼 板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) ・ 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317) 建具寸法が<5.4.4(a)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ 区 分 使用箇所 厚さ (mm) 窓 枠類 枠、方立、無目 枠、方立、一般部分 戸 中骨 出入口 枠類 一般部分 上記以外 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 ・ 使用しない 戸の鋼板 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ※ カラー鋼板 標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ・ 鋼製 ※ アルミ製 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 ・ 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 表面処理 ※ H L ・ 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ		6. 鋼製軽量建具	⑧ タイル張替え工法	規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状		工 法	上塗り材	7. ステンレス製 建具	⑧ タイル張替え工法	規格名称		種類(呼び名)	仕上の形状	工 法	上塗り材			
		⑧ タイル張替え工法		規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工 法	上塗り材		⑧ タイル張替え工法	規格名称		種類(呼び名)	仕上の形状		工 法			上塗り材																								
⑧ タイル張替え工法		規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工 法	上塗り材																																					

5	14	ガラス	ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット（可動アルミ製建具に限る） 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの清幅については、〈表5.13.1〉による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの清幅は図示による。 複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。	6	内装改修工事	14. ビニル床 タイル・ビニル床シートの特長機能	帯電防止 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）1.2～3.1程度 又は耐電圧（JIS L 1023）3kV以下 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）1×10 ¹⁰ オーム未満 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）5.2以上 又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）1×10 ⁷ オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験（発泡層のあるビニルシートのみ）およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。	6	内装改修工事	22. 遮音シール材 23. 壁紙張り	・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド	8	8	無筋 コンクリート	適用箇所は(6.14.1)によるほか、下記による。 適用箇所																																																																																																																																																								
15		ガラス ブロック (中空)	表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法 による区分(長さ×高さ)	厚さによる区分								9	グラウト材	無収縮グラウト材は、製造所で調合された材料を使用する。 圧縮強度(N/mm2) : 3.0以上 コンステンション J ₁₄ : ロート値(秒) 6～10 乾燥収縮(×10 ⁻⁴) : 0																																																																																																																																																								
			正方形	125×125	160×160	80							10	柱底等の 均しモルタル	無収縮モルタル材	使用する	使用しない																																																																																																																																																						
			長方形	200×200	320×320	95							11	型 枠	せき板の種類 せき板の塗料	※ 12mm合板	・ 有																																																																																																																																																						
				250×125	320×160	125							12	コンクリートの 打込み工法	※ 流込み工法	・ 圧入工法																																																																																																																																																							
			品質等										13	既存部分の 撤去	既存仕上の撤去範囲 既存躯体の撤去範囲	※ 図示	・																																																																																																																																																						
			ガラスの種類	柄	目地色	金 属 枠	耐火性能						8	1. あと施工 アンカー	※ 接着系アンカー アンカーの種類 接着剤 ・ 金属系アンカー 打込み方式	〔引張耐力 (KN)〕 ※カプセル型回転・打撃式 ※有機系 〔引張耐力 (KN)〕 ※本体打込み式改良型	〔せん断耐力 (KN)〕 ・ 無機系 〔せん断耐力 (KN)〕 ・																																																																																																																																																						
6	内装改修工事	1. 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示の範囲	合成樹脂塗床の除去方法 ・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法 ・ 当該室全体 ・ 図示の範囲	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 ※ 〈4.4.9〉による（ ）	表面仕上げの程度	A種	※ B種	・ C種	含水率	下地材	※ A種	・ B種	造作材	※ A種	・ B種	造作材の材面の品質	※ A種	・ B種	代用樹種を使用しない箇所 ※ なし（ ）あり（ ）	6	集成材	造作用集成材は〈6.5.2(c)(ii)〉による 見付け材面	JASによる集成材	そ の 他	等 級	※ 1等	・ 2等	※ JAS集成材1等同等	単材の樹種	単材の厚さ(mm)	10～15	10～15	7	床張り用合板	床下貼り用合板 ※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上 ・ （ ）	8	防腐・防蟻 ・ 防虫処理	薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位（ ） 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の加圧注入処理を行ったもの、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1	9	軽量鉄骨天井 下地材	野縁などの種類 屋内 ※ 19型 ・ 25型(室名：) 屋外 ※ 19型 ※ 25型 インサート ・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける あと施工アンカーの引抜き試験 ・ 行う ※ 行わない 耐震性を考慮した補強 ※ 行わない ・ 行う（補強方法及補強箇所は図示による） 耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等） ※ 行わない ・ 行う（補強方法及補強箇所は図示による）	10	軽量鉄骨 壁下地材	スタッド、ランナーなどの種類は〈表6.7.1〉による。	11	体育館の 鋼製床下地	※ JIS A 6519のJIS表示認証製品	12	ビニル床 シート張り	JIS A5705のJIS表示認証製品 種 類	記 号	色 柄	厚さ(mm)	特殊機能	工 法	※ 発泡層の ないもの	※ F S ※無地 ・ T S ・ マーブル	・ 2.0 ・ 2.5	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重	※熱溶接 ・ 突付け	13	ビニル床 タイル張り	JIS A5705のJIS表示認証製品 種 類	記 号	寸 法	厚さ(mm)	特殊機能	※ コンポジション ビニル床タイル	・ K T	※ 300×300	※ 2.0	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重	・ ホモジニアス ビニル床タイル	・ F T	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重	20	量数き	21	石こうボード その他ボード 張り	量の種別	・ A種 ※ C種	・ B種 ・ D種（ ）	種類又は記号	種別など	厚 さ (mm)	規格番号	けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK		壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)	天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)	グラスウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B	ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品	25(不燃)	JIS A 6301 (32K)	ロックウール 化粧吸音板 (吸音材料) DR	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	JIS A 6301	せっこうボード (せっこうボード製品) GB-R	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901	シージング せっこうボード (せっこうボード製品) GB-S	トラバー チン模様 色 ※白 ・ 黄	9.5(不燃)	JIS A 6901	化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GB-NC	木目模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901	化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GB-D	木目模様 (裏付けき) 特殊模様	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	せっこうボードの目地処理	・ 継目処理工法 ・ 突き付け工法	※ 突き付け目地工法 目隠し工法	7	1. 防火材料	※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。（ ）	8	2	錆止め 塗料塗り	下 地 種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗料種別	鉄鋼面	新 規	※RA種 ※RB種 ※RC種	※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ)	※A種 ※B種	塗替え	※RA種 ※RB種 ※RC種	・ A種 ・ B種 ※C種 ・ A種 ・ B種 ※C種	※A種 ※B種	亜鉛めっき 鋼面	新 規	※RA種 ※RB種 ※RC種	※A種 ・ B種 ・ C種	※A種 ・ B種 ※C種	塗替え	※RA種 ※RB種 ※RC種	・ A種 ・ B種 ※C種 ・ A種 ・ B種 ※C種	※C種 ※D種	下 地 種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗料種別	木部	新 規	※RA種 ※RB種 ※RC種	※A種(外部) ※B種(内部)	・ C種 ・ C種	※1種 ・ 2種	鉄鋼面	新 規	※RA種 ※RB種 ※RC種	・ A種 ※B種 ・ C種 ・ A種 ※B種

9 1 （ 環 ア ス 境 へ 配 ス ト 處 含 改 有 建 修 材 工 の 処 事 理 工 事 ）	1. 一般事項	石綿等の取扱については、大気汚染防止法(昭和43年6月10日法律第97号)（以下、「大防法」という。）及び石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)（以下、「石綿則」という。）を遵守すること。 施工調査 ・ 行わない ※ 行う（大防法第18条の17により、同法の特定制事に該当するか事前調査を行うこと。調査結果は、図面等に記録し、書面により発注者に説明の上、提出すること。 特定制事に該当する場合、受注者は大防法第18条の15による届出書の案を作成し、監督員に提出すること。 調査の結果、設計図書と異なる場合は監督員と協議する。） 調査事項 ※ アスベスト含有建材等の使用部位 ※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ、面積 ※ 施工範囲と工事範囲区分 ※ 排出等作業の方法 ・ 調査結果を公衆に見やすいよう掲示すること。 ※ 事業場の名称 ※ 調査結果 ※ 建築物等の種類 ※ 調査者及び所属 ※ 調査方法 ※ 調査終了年月日 ※ 発注者からの通知 ・ アスベスト含有分析 ・ 行わない ○ 行う（分析結果は監督職員に提出する。） 調査箇所 ※ 図示 ・（ ） 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。 <table><tr><td>材 料 名</td><td>定性分析</td><td>定量分析</td></tr><tr><td>加硫ゴム系シート(ブチルゴム)</td><td>○（試料数： 1 ）</td><td>・（試料数： ）</td></tr><tr><td></td><td>・（試料数： ）</td><td>・（試料数： ）</td></tr></table> アスベスト粉じん濃度測定 ○ 行わない。 ※ 行う（測定する時期・場所等は下表による） 「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部－ ：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。 <table><tr><th>適用名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点 (各施工箇所ごと)</th><th>室 名 等</th></tr><tr><td>・ 測定 1</td><td>処理作業前</td><td>処理作業室内 (注1)</td><td>※ 2点 ・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 2</td><td></td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※ 2点 ・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 3</td><td>処理作業中</td><td>処理作業室内 (注1)</td><td>※ 2点 ・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 4</td><td></td><td>セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを確認)</td><td>※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 5</td><td></td><td>負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)</td><td>※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 6</td><td></td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※ 2点 ・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 7</td><td>処理作業後 シート</td><td>処理作業室内</td><td>※ 2点 ・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 8</td><td>撤去前</td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※ 2点 ・ 点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定 9</td><td>処理作業後 シート 撤去後</td><td>処理作業室内</td><td>※ 2点 ・ 点 ※ 2点 ・ 点</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">測 定 点 総 計</td><td>点</td></tr></table> 注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 (例)アスベスト粉じん濃度測定方法 <table><tr><th>測定点</th><th>測定点 1、2、4、6、7、8</th><th>測定点 5</th></tr><tr><td>数計機器</td><td>位相差・分散顕微鏡</td><td></td></tr><tr><td>メンブレンフィルタの直径</td><td>2 5 mm</td><td>4 7 mm</td></tr><tr><td>試料の吸引流量</td><td>1 L/min</td><td>5 L/min</td></tr><tr><td>試料の吸引時間</td><td>5 min</td><td>1 2 0 min</td></tr><tr><td>試料の透明化</td><td>アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法</td><td>1 0 L/min</td></tr><tr><td>計数条件</td><td>総合倍率4 0 0倍、アスベスト繊維総数、通常5 0視野</td><td>2 4 0 min</td></tr><tr><td>計数アスベスト</td><td>幅3 μm未満、長さ5 μm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上</td><td></td></tr><tr><td>定量限界</td><td>5 0本/L</td><td>0. 4 7本/L</td></tr><tr><td></td><td></td><td>0. 3本/L</td></tr></table> 記録する項目 ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。） エ. サンプリング条件 （メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量） オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時（各測定場所ごと）の 天候、温度、湿度、外気の風速及び風量 測定機関 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関 施工記録報告書の提出 1. 施工計画書 2. 工事記録及び工事写真 3. 産業廃棄物処理記録（廃石綿） 4. 施工調査等記録（条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等） 5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録 6. その他必要事項 提出部数 3部作成	材 料 名	定性分析	定量分析	加硫ゴム系シート(ブチルゴム)	○（試料数： 1 ）	・（試料数： ）		・（試料数： ）	・（試料数： ）	適用名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等	・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※ 2点 ・ 点		・ 測定 2		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点 ・ 点		・ 測定 3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※ 2点 ・ 点		・ 測定 4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを確認)	※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点		・ 測定 5		負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点		・ 測定 6		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点 ・ 点		・ 測定 7	処理作業後 シート	処理作業室内	※ 2点 ・ 点		・ 測定 8	撤去前	施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点 ・ 点		・ 測定 9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※ 2点 ・ 点 ※ 2点 ・ 点		測 定 点 総 計				点	測定点	測定点 1、2、4、6、7、8	測定点 5	数計機器	位相差・分散顕微鏡		メンブレンフィルタの直径	2 5 mm	4 7 mm	試料の吸引流量	1 L/min	5 L/min	試料の吸引時間	5 min	1 2 0 min	試料の透明化	アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法	1 0 L/min	計数条件	総合倍率4 0 0倍、アスベスト繊維総数、通常5 0視野	2 4 0 min	計数アスベスト	幅3 μm未満、長さ5 μm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上		定量限界	5 0本/L	0. 4 7本/L			0. 3本/L
	材 料 名	定性分析	定量分析																																																																																													
	加硫ゴム系シート(ブチルゴム)	○（試料数： 1 ）	・（試料数： ）																																																																																													
		・（試料数： ）	・（試料数： ）																																																																																													
適用名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等																																																																																												
・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※ 2点 ・ 点																																																																																													
・ 測定 2		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点 ・ 点																																																																																													
・ 測定 3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※ 2点 ・ 点																																																																																													
・ 測定 4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを確認)	※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点																																																																																													
・ 測定 5		負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点 ※ 1点 ・ 点																																																																																													
・ 測定 6		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点 ・ 点																																																																																													
・ 測定 7	処理作業後 シート	処理作業室内	※ 2点 ・ 点																																																																																													
・ 測定 8	撤去前	施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点 ・ 点																																																																																													
・ 測定 9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※ 2点 ・ 点 ※ 2点 ・ 点																																																																																													
測 定 点 総 計				点																																																																																												
測定点	測定点 1、2、4、6、7、8	測定点 5																																																																																														
数計機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																															
メンブレンフィルタの直径	2 5 mm	4 7 mm																																																																																														
試料の吸引流量	1 L/min	5 L/min																																																																																														
試料の吸引時間	5 min	1 2 0 min																																																																																														
試料の透明化	アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法	1 0 L/min																																																																																														
計数条件	総合倍率4 0 0倍、アスベスト繊維総数、通常5 0視野	2 4 0 min																																																																																														
計数アスベスト	幅3 μm未満、長さ5 μm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上																																																																																															
定量限界	5 0本/L	0. 4 7本/L																																																																																														
		0. 3本/L																																																																																														
2. 除去工事 共通事項	専門工事業者 アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。 作業主任者の選出 石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。 除去作業者の教育 作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。 ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。 表示及び掲示 更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。 ※ アスベスト作業主任者名と職務内容 ※ 関係者以外立入禁止 ※ 喫煙・飲食の禁止 ※ 「アスベスト除去作業中」の表示 ※ アスベストの有害性 ※ 取り扱い上の注意事項 ※ 使用すべき保護具 周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。 ※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ（労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等）」 保護具、保護衣 作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。 除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 ※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管 ※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形板を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 ※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。 アスベスト含有吹き付け材の除去工事 ・ 行う（適用範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 行わない 作業場等の隔離等 ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。 隔離シートの性能 ※ 床面 ※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重 ※ 壁面 ※ 0.08mm以上のプラスチックシート等 ただし、（一財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。 セキュリティゾーンの設置 ※ 下表による <table><tr><th>適用</th><th>室名</th><th>状態</th></tr><tr><td>※</td><td>更衣室</td><td>※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備</td></tr><tr><td>※</td><td>洗浄室</td><td>※ エアシャワー（温水シャワー）</td></tr><tr><td>※</td><td>前室</td><td>・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご</td></tr></table> ただし、（一財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。 除去物及び汚染等 処理方法 ※ 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化 アスベスト含有保温材の除去工事 ・ 行う（適用範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 行わない 養生等 ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。 掻き落とし、破碎、切断による除去方法 ※ 行わない ・ 行う（<9.1.3>「アスベスト含有吹き付け材の除去」による） 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。	適用	室名	状態	※	更衣室	※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備	※	洗浄室	※ エアシャワー（温水シャワー）	※	前室	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご																																																																																			
適用	室名	状態																																																																																														
※	更衣室	※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備																																																																																														
※	洗浄室	※ エアシャワー（温水シャワー）																																																																																														
※	前室	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご																																																																																														
3. アスベスト 含有吹き付け材 の除去																																																																																																
4. アスベスト 含有保温材等 の除去																																																																																																

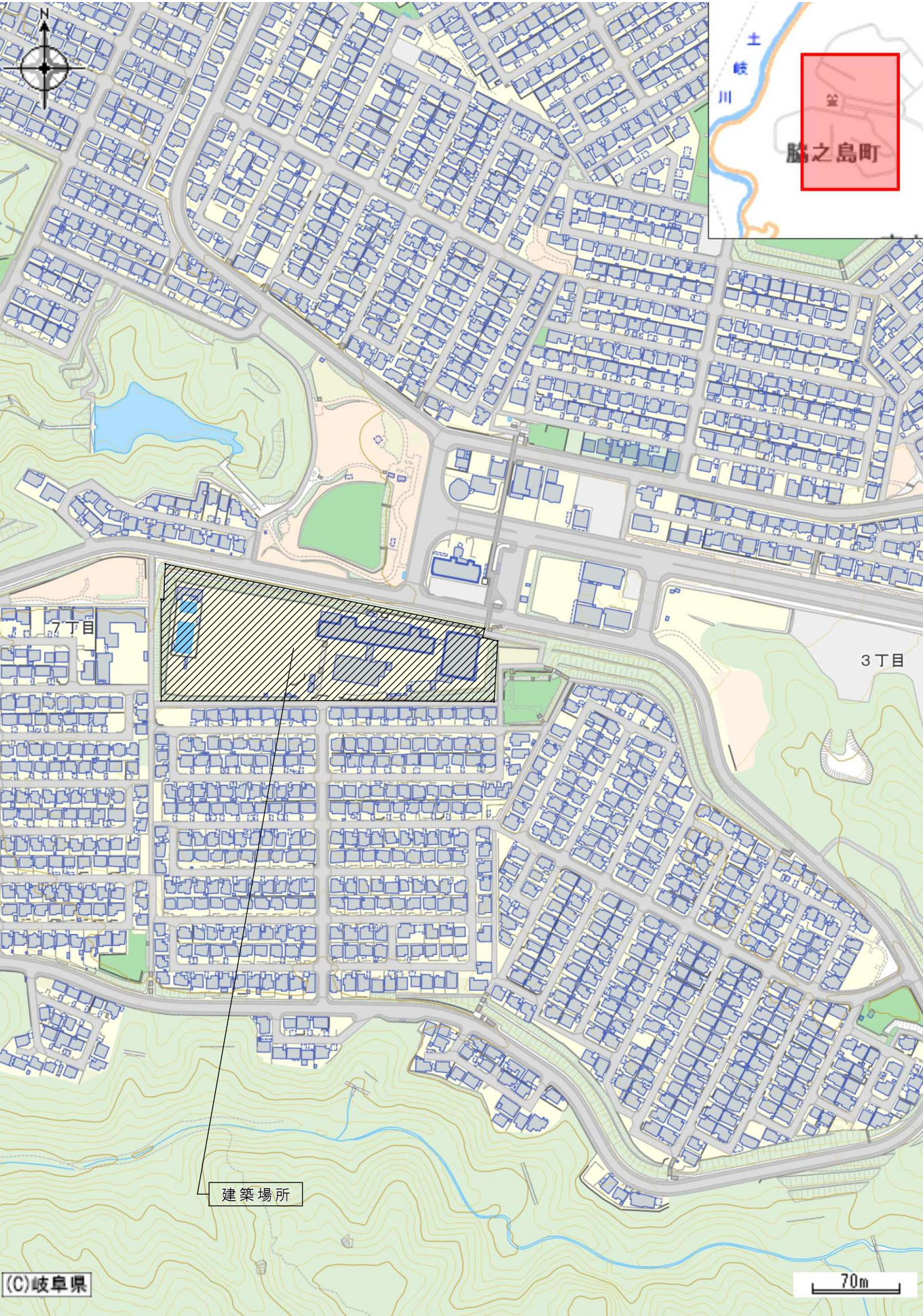
9 1 2 （ 環 境 断 配 慮 改 修 工 事 工 事 ）	1. 断 熱 材	断熱材の打込み及び現場発泡工法 <table><tr><th>種 類</th><th>箇 所</th><th>厚 さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ ポリスチレン フォーム (発泡プラス チック保温材)</td><td>・ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種b ※ A種押出法 3種b (スキム層付き)</td><td>下記以外 接地板部分及び 屋根防水部分 ビット内部</td><td>※ 25 ・ JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタン フォーム保温材</td><td>※ A種</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ フェノール フォーム保温材</td><td>※ A種</td><td>・</td><td>・ JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>・ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材</td><td>※ A種 1</td><td>・</td><td>※ 20 ・ JIS A 9526 による難燃性 ・ 2級 ※ 3級</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。 上記以外に用いる断熱材 <table><tr><th>種 類</th><th>箇 所</th><th>厚 さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ J I S A発泡 プラスチック 保温材</td><td>・ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種b ※ A種押出法 3種b (スキム層付き)</td><td>下記以外 接地板部分及び 屋根防水部分 ビット内部</td><td>※ 25 JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>・ グラスウール 保温材</td><td></td><td>※ 100 ・</td><td>※ 24K品</td></tr></table> ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・ 防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り（重ね100）	種 類	箇 所	厚 さ (mm)	備 考	※ ポリスチレン フォーム (発泡プラス チック保温材)	・ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種b ※ A種押出法 3種b (スキム層付き)	下記以外 接地板部分及び 屋根防水部分 ビット内部	※ 25 ・ JIS A 9511の JIS表示認証製品	・ 硬質ウレタン フォーム保温材	※ A種	・	・	・ フェノール フォーム保温材	※ A種	・	・ JIS A 9511の JIS表示認証製品	・ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材	※ A種 1	・	※ 20 ・ JIS A 9526 による難燃性 ・ 2級 ※ 3級	・	・	・	・	種 類	箇 所	厚 さ (mm)	備 考	・ J I S A発泡 プラスチック 保温材	・ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種b ※ A種押出法 3種b (スキム層付き)	下記以外 接地板部分及び 屋根防水部分 ビット内部	※ 25 JIS表示認証製品	・ グラスウール 保温材		※ 100 ・	※ 24K品
	種 類	箇 所	厚 さ (mm)	備 考																																		
	※ ポリスチレン フォーム (発泡プラス チック保温材)	・ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種b ※ A種押出法 3種b (スキム層付き)	下記以外 接地板部分及び 屋根防水部分 ビット内部	※ 25 ・ JIS A 9511の JIS表示認証製品																																		
	・ 硬質ウレタン フォーム保温材	※ A種	・	・																																		
・ フェノール フォーム保温材	※ A種	・	・ JIS A 9511の JIS表示認証製品																																			
・ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材	※ A種 1	・	※ 20 ・ JIS A 9526 による難燃性 ・ 2級 ※ 3級																																			
・	・	・	・																																			
種 類	箇 所	厚 さ (mm)	備 考																																			
・ J I S A発泡 プラスチック 保温材	・ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種b ※ A種押出法 3種b (スキム層付き)	下記以外 接地板部分及び 屋根防水部分 ビット内部	※ 25 JIS表示認証製品																																			
・ グラスウール 保温材		※ 100 ・	※ 24K品																																			
10	1. 埋戻し及び 盛土の種類	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種 C種の場合	※ B 種 建設発生土受入れ量 発生場所 受入条件 m3																																			
11	2. 建設発生土の 処理	・ 構外に搬出し適切に処理する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・住所 (km) ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。																																				
12	1. コンクリート ブロック横壁 及び塀	ブロックの種類 ※ 空洞ブロック 16 (ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。)																																				

12 舗 装 工 事	1. 再生材	※ 使用する 路床の盛土材料 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 使用しない ・ 川砂・海砂又は良質な山砂 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込碎石材料 ※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土） ※ 行わない ※ 行う（箇所：埋戻し及び盛土部） ※ 再生クラッシャラン R C－4 0（透水性舗装の場合を除く） ・ クラッシャラン C－4 0 ・ クラッシャランスラグ C S－4 0 ※ 行う 加熱アスファルト混合物の種類 <table><tr><th>表 層</th><td>※ 再生密粒度アスファルト混合物（1 3） ・ 密粒度アスファルト混合物（1 3） ・ 細粒度アスファルト混合物（1 3） ・</td><td rowspan="2">舗装の厚さは 図示による</td></tr><tr><th>基 層</th><td>※ 再生粗粒度アスファルト混合物（2 0） ・ 粗粒度アスファルト混合物（2 0） ・</td></tr></table> アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・ 行う 早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない 溶接金網 ※ あり ・ なし ・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装 基 層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 地業の材料 ・ 再生クラッシャラン ・ A種(通路) ※ B種(建物周辺) ※ J I S K 5 6 6 5 3種1号	表 層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（1 3） ・ 密粒度アスファルト混合物（1 3） ・ 細粒度アスファルト混合物（1 3） ・	舗装の厚さは 図示による	基 層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（2 0） ・ 粗粒度アスファルト混合物（2 0） ・																			
	表 層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（1 3） ・ 密粒度アスファルト混合物（1 3） ・ 細粒度アスファルト混合物（1 3） ・	舗装の厚さは 図示による																							
	基 層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（2 0） ・ 粗粒度アスファルト混合物（2 0） ・																								
	13	1. フリー アクセス フロア	(20.2.2) <table><tr><th>施工場所</th><th>工法</th><th>仕上り高 (mm)</th><th>適用地震時 水平力(Ks)</th><th>耐荷重性能 (N)</th><th>表面仕上げ</th></tr><tr><td></td><td>・ 溝工法 (置敷工法)</td><td></td><td>※ 1.0G ※ 0.6G</td><td>・ 3,000 ・ 5,000 ・</td><td>・ 帯電防止 床タイル ・ タイル カーペット</td></tr><tr><td></td><td>・ 支柱一体型 パネル工法 (置敷工法)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ 支柱分離型 パネル工法 (独立支柱工法)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる 床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。 記録取出し用切り欠きパネルは1枚/m ² 以上とする。 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※ なし ・ 有リ（※固定式 ・ 可変式） 施工箇所は図示	施工場所	工法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力(Ks)	耐荷重性能 (N)	表面仕上げ		・ 溝工法 (置敷工法)		※ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・ 帯電防止 床タイル ・ タイル カーペット		・ 支柱一体型 パネル工法 (置敷工法)						・ 支柱分離型 パネル工法 (独立支柱工法)			
施工場所	工法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力(Ks)	耐荷重性能 (N)	表面仕上げ																					
	・ 溝工法 (置敷工法)		※ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・ 帯電防止 床タイル ・ タイル カーペット																					
	・ 支柱一体型 パネル工法 (置敷工法)																									
	・ 支柱分離型 パネル工法 (独立支柱工法)																									
2. 可動間仕切 (パーテーション)	構造形式による種類 構成材の種類 パネル表面材 遮音性 防火性能 パネルの操作方法 パネル表面材の材質及び仕上げ パネル固定装置の操作方法 遮音性 防火性能 取り付け用あと施工アンカー	スタッド式（内蔵） アルミニウム合金系又はスチール系 焼付塗装鋼板（標準色）t＝0.5以上 3 6 dB/500Hz以上 不燃 規定しない 製造所仕様の化粧鋼板（標準色） t＝0.5以上 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式 3 6 dB/500Hz以上 不燃 材質、寸法等は図示又は製造所の 仕様による																								
3. 移動間仕切 (スライディング ドア)	表面材 材 種 取り付け方法	メラミン化粧板（標準色） ステンレス製 H＝6 0 アルミ製 厚4 0 中心吊りアール形アルミ製エッジ、 帽子掛け戸当たり付き ステンレス（SUS3 0 4） ビニールタイヤ入り（幅約35mm） ※ 接着工法 ・ 埋込み工法																								
4. トイレブース	ステンレス F B（SUS3 0 4） （床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）																									
5. 階段滑り止め (ノンスリップ)	耐湿鏡 t＝5 衝突防止表示 誘導標識 室名札	ステンレス製 H L 仕上げ Φ3 0 程度 市販品 市販品 市販品 アクリル板																								
6. 床目地棒	施工箇所 天 井 床	材 種 ※ アルミニウム製 ※ 4 5 0 × 4 5 0 ・ 6 0 0 × 6 0 0 ※ アルミニウム製 ※ 4 5 0 × 4 5 0 ・ 6 0 0 × 6 0 0																								
7. 鏡	屋 外	※ コンクリート製 ・ 磁器質タイル（※1 0 0 角 ・ 1 5 0 角）																								
8. 表 示																										
9. 点検口																										
10. 視覚障害者用 誘導ブロック																										

一級建築士事務所 no.10566 大春建築工房 design labo 一級建築士 no.297623 インテリアプランナー 山田敬志		工事名称 協之島小学校屋内運動場外壁等改修工事	設計図	年度 R5	図面番号 A-5
		図面名 建築工事特記仕様書 4	縮尺		

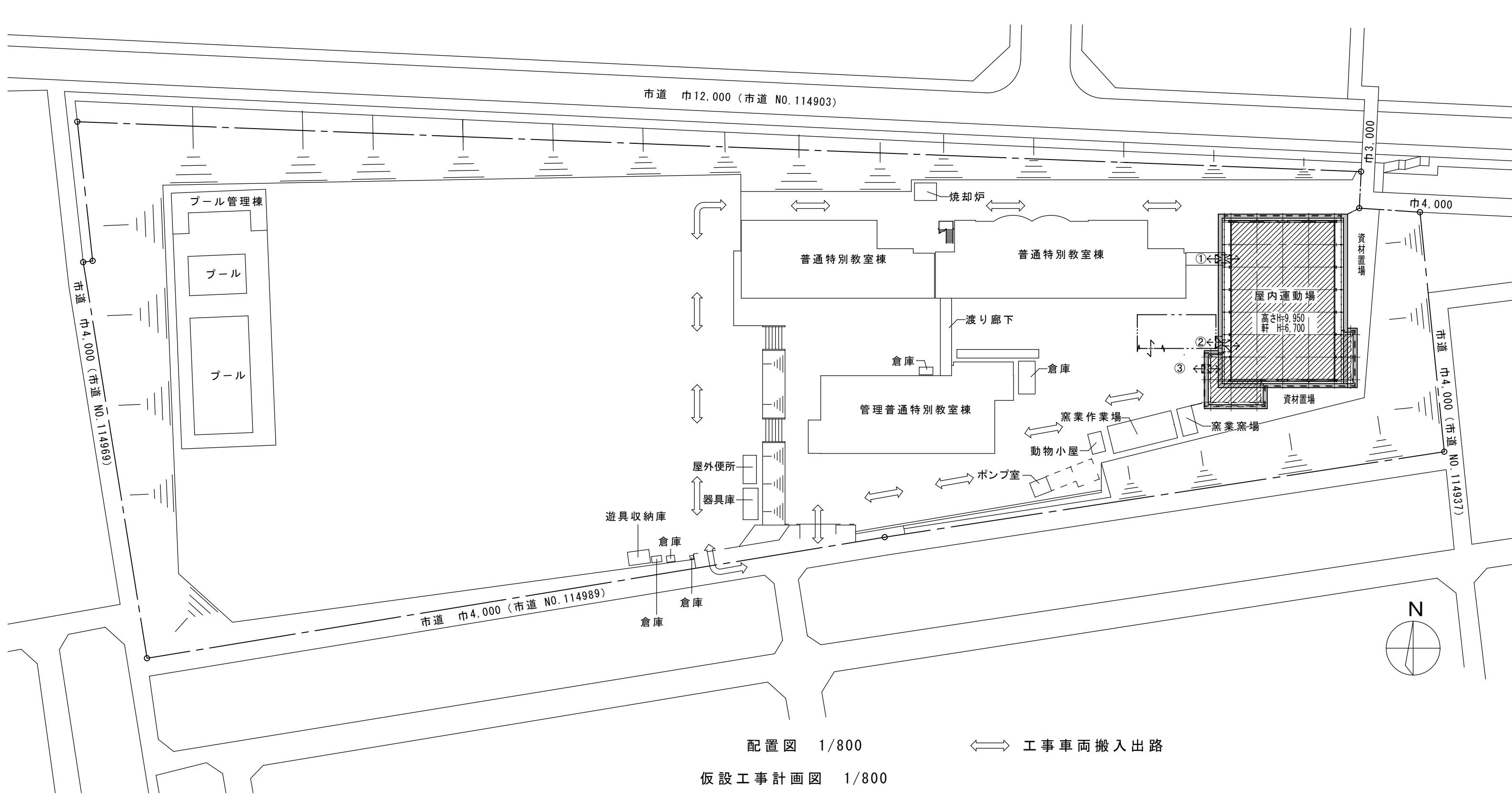
[illegible]

外部仕上表					
改修項目	部位	記号	改修前	改修後	参考メーカー または同等品
改修工事	大屋根：roof	r1	下地：ロックウール吸音板張り+木毛板 t30 アスファルトルーフィング22Kg アルミメッキ鋼板t0.8 折版(F-80)葺き 嵌合タイプ 棟包:アルミメッキ鋼板 t0.8	断熱補強発砲ウレタン塗膜防水 断熱補強層10mm+防水層1.5mm 棟包ジョイント部:絶縁テープ処理	リ・ルーフ工法 [シーカ・ジ・ヤハン]
	陸屋根：flat roof	fr1	下地：モルタル金コテ仕上 シート 防水t1.5 ドレン：鋳物製コールタール焼付 笠木：アルミ製笠木	平場：ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法 高反射仕様 立上り：ウレタン塗膜防水 密着工法 アルミ製笠木は取外し復旧	通気緩衝工法 DSX-1 [シーカ・ジ・ヤハン] DSX-2Lゼロ [シーカ・ジ・ヤハン]
	軒裏：eaves	e1	ケイカル板t6.0 目透かし張り 吹付タイル	下地：LGS ケイカル板t6.0 目透かし張り EP	
		e2	合板型枠コンクリート 打ち放し 目地切り 吹付タイル	下地：シーラー処理 可とう形外装薄塗材Si	スーパームクロール [シーカ・ジ・ヤハン]
	外壁：wall	w1	合板型枠コンクリート 打ち放し 目地切り 吹付タイル	外壁クラック補修 下地：シーラー処理 防水形改修塗材E	ダイヤモンドファイラードンセイ+セラコートアクア [シーカ・ジ・ヤハン]
		w2	ALC t50 横張 吹付タイル	下地：シーラー処理 防水形改修塗材E	ダイヤモンドファイラードンセイ+セラコートアクア [シーカ・ジ・ヤハン]
		w3	ファッションパネル t50	既設のまま 掃除 シーリングは打替	
		w4	下地：合板型枠コンクリート 磁器質タイル張 ニ丁掛	タイル浮き上がり補修	
	巾木：baseboard	b1	下地：合板型枠コンクリート モルタル金コテ仕上	ポリマーセメント系塗材	基礎ガード [菊水化学工業]
	床：floor	f1	テラス床：モルタル金コテ仕上 目地切り	既設のまま 掃除	
		f2	ポーチ床：磁器質タイル100角張 ゴムマット：1500*600 ステンレス枠 泥溜柵：250角 排水柵：鋳物製格子蓋	既設のまま 掃除 一部磁器質タイル100角張り替え	
	建具：Aluminum Sash Aluminum Door Steel Door	AW AD	アルミ製サッシ窓 アルミ製サッシ戸	既設のまま 掃除 シーリングは打替 既設のまま 掃除 シーリングは打替	
		SD	スチール製サッシ SOP	既設のまま 耐候性塗装DP(B種2級) ケン下地処理(RB種)	
	溝(軒樋)：eaves gutter	eg1	オリエンタルメタル t0.8 着色耐酸アクリル被覆鋼板 落し口：ステンレス金網張り	高物性1成分形ウレタン塗膜防水密着工法	ZHM-200L [シーカ・ジ・ヤハン]
	竖樋：downpipe	dp1	白ガス管 100A SOP 掴み金物：FB3*25 亜鉛メッキ SOP	耐候性塗装DP(B種2級) ケン下地処理(RB種)	
	軒裏換気口：soffit ventilation	sv1	換気グリル：スチール製焼付塗装品 400x200	換気グリル：ステンレス製 400x200	LN-225W [JOT0]
		sv2	換気グリル：スチール製焼付塗装品 400x200 防火ダンパ付	換気グリル：ステンレス製 400x200 防火ダンパ付	LN-225W-FD [JOT0]
	屋外フード：outdoor hood	oh1	ステンレス製換気フード 350角	既設のまま 掃除	
	屋外照明器具：outdoor lighting	ol1	壁付け照明器具	既設のまま 取外し再取付	
		ol2	天井付け照明器具	既設のまま 取外し再取付	
		ol3	玄関天井付け照明器具	既設のまま 取外し再取付	
	電気BOX: electrical box	eb1	鉄製	既設のまま 耐候性塗装DP(B種2級) ケン下地処理(RB種)	
	雨水枡：rainwater tank	rt1	コンクリート製雨水枡 鉄製格子蓋300角 t10	鉄製格子蓋300角 t10のみ取り換え ※竖樋と干渉する場合はコの字にカット	
	下足入れ：shoe rack	sr	天端：防水モルタル金コテ仕上 壁：合板型枠コンクリート 打ち放し 吹付タイル 一部壁：陶壁 棚：耐水シナ合板 ラックニス仕上	天端：ウレタン塗膜防水 クロス入密着工法 壁：防水形複層塗材E 棚：ゴム積層材 t20	DSX-2Lゼロ [シーカ・ジ・ヤハン] ダイヤモンドファイラードンセイ+セラコートアクア



□ 建築概要	
工事場所	多治見市脇之島町7丁目39番地の2 地内
工事名称	脇之島小学校屋内運動場外壁等改修工事
用途地域	第1 種低層住居専用地域
防火地域	指定なし 22条区域内
建ぺい率	50%
容積率	80%
構造	R C 造 平屋建て
敷地面積	26,191.00㎡
建築面積	1,092.50㎡
延床面積	919.00㎡

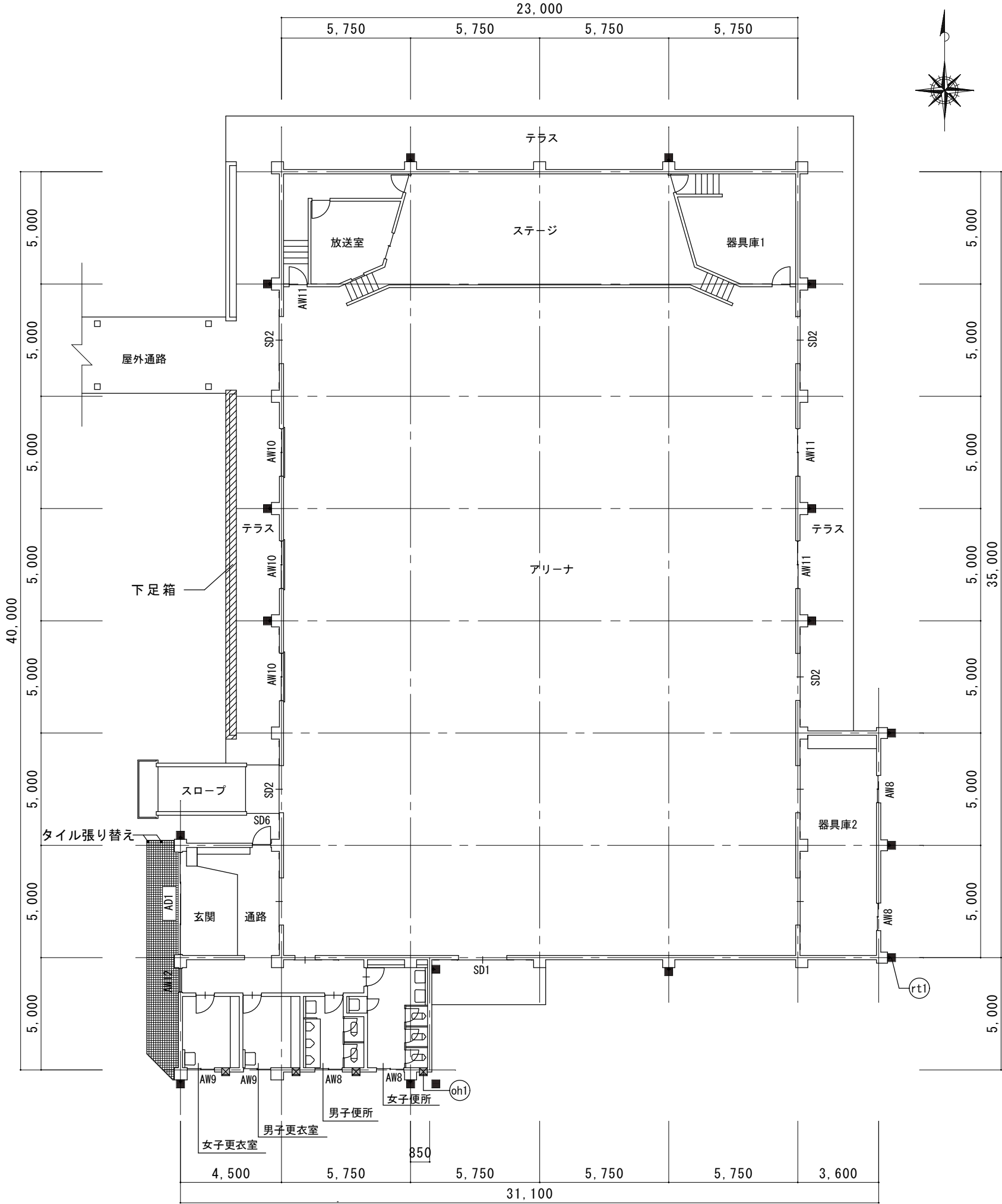
付 近 見 取 り 図



凡例	
	改修建物
	外部足場（くさび緊結式足場、W0.9×H1.8 ネット養生シート（防災Ⅰ類） 最下部のみ金網又はガードフェンス等進入防止措置
	仮囲い：ガードフェンスH1.8
	クロスゲート W6.0×H1.8
	コーンバー
	仮設通路：①：W1.8xD3.5×H2.1 ③：W1.8xD2.0×H2.1 ②：W2.6xD3.5×H2.1

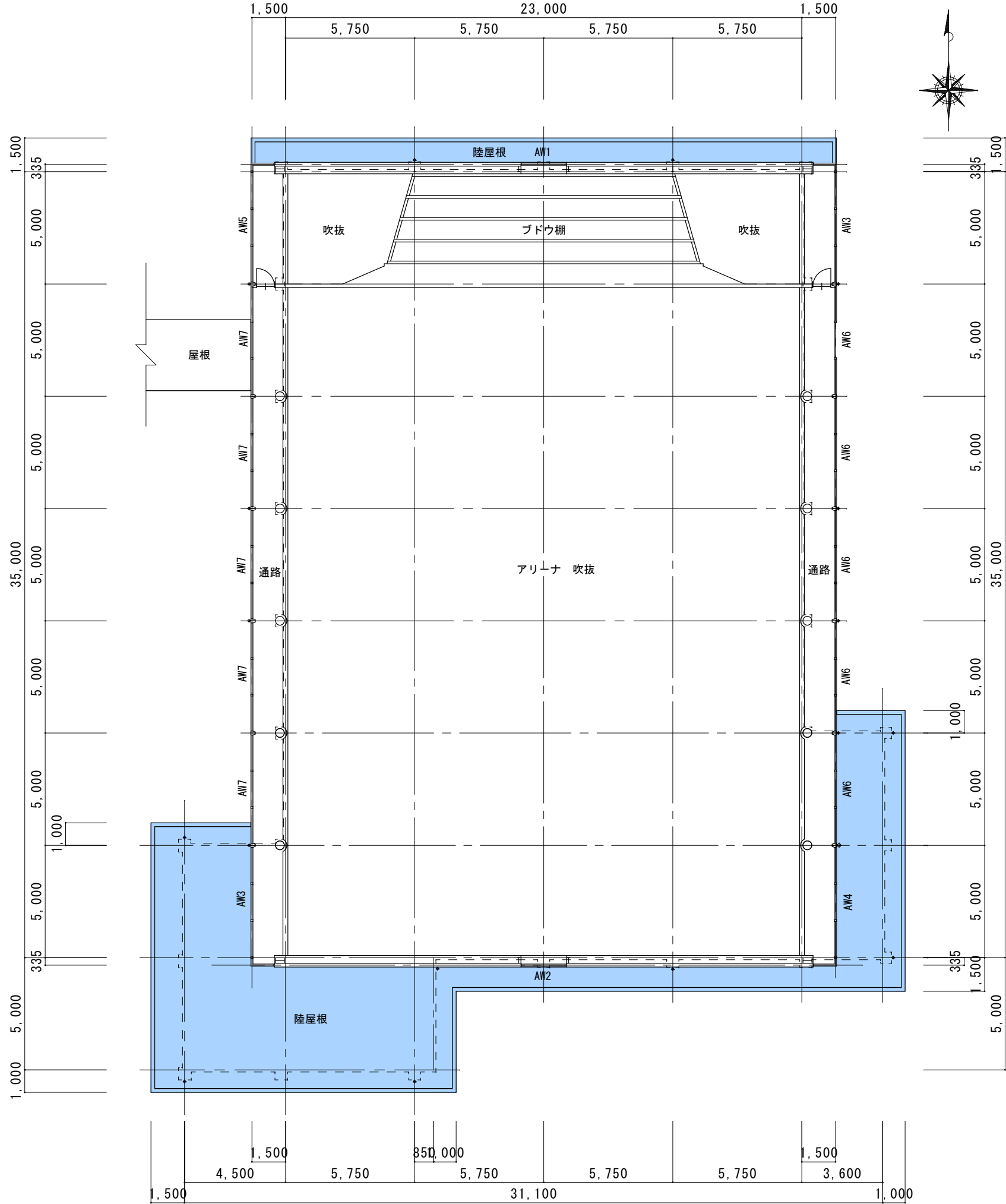
※ 本設計図の一部修正<多治見市追記>

title	drawing name	scale	date		〒507-0813 岐阜県多治見市滝呂町9-152-7 tel 0572-21-4618	一級建築士事務所 no.10566 大春建築工房 design labo 一級建築士 no.297623 インテリアプランナー 山田敬志	no
脇之島小学校屋内運動場外壁等改修工事	配置図 仮設工事計画図	1/800 1/800	R5.9.5 R5.12.18				A-9



建具表				
符号	形状・仕様	寸法	数量	工事種別
SD1	引き分けスチールフラッシュ戸 スチール格子戸付き	W2,150*H1,900	1	耐候性塗装DP(B種2級) ケレン下地処理(RB種)
SD2	引き分けスチールフラッシュ戸 スチール格子戸付き	W2,100*H1,900	4	
SD6	片開きスチールフラッシュ戸	W800*H1,900	1	
AD1	引き分けアルミ戸 両袖FIX+欄間	W4,530*H2,590	1	掃徐 シーリングは打替
AW1	FIXアルミ段窓 アルミガラリ付き	W2,000*H4,975	1	
AW2	FIXアルミ段窓 アルミガラリ付き	W2,000*H4,975	1	
AW3	FIXアルミ連窓 コーナー窓	W980+W5,245*H2,150	2	
AW4	FIXアルミ連窓 コーナー窓	W980+W5,245*H2,150	1	
AW5	FIXアルミ連窓 コーナー窓	W980+W5,245*H2,150	1	
AW6	引き違い・FIXアルミ連窓	W4,820*H3,650	5	
AW7	引き違い・FIXアルミ連窓	W4,820*H3,650	5	
AW8	引き違い窓 アルミガラリ付き	W1,190*H1,460	4	
AW9	引き違い窓 アルミガラリ付き	W1,190*H1,460	2	
AW10	引き違い窓 スチール格子戸付き スチール部のみ塗装する	W2,100*H600	3	掃徐 シーリングは打替 耐候性塗装DP(B種2級) ケレン下地処理(RB種)
AW11	引き違い窓	W2,100*H600	2	掃徐 シーリングは打替
AW12	ガラスブロック+アルミ枠	W1,010*H2,410	1	

1 階平面図 1/200

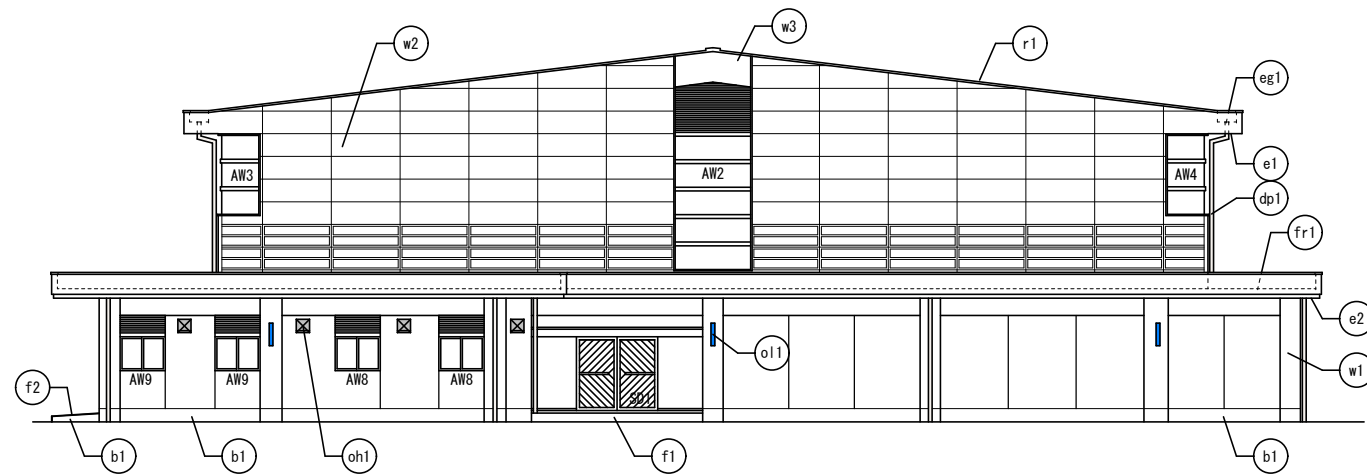


吹抜平面図 1/200

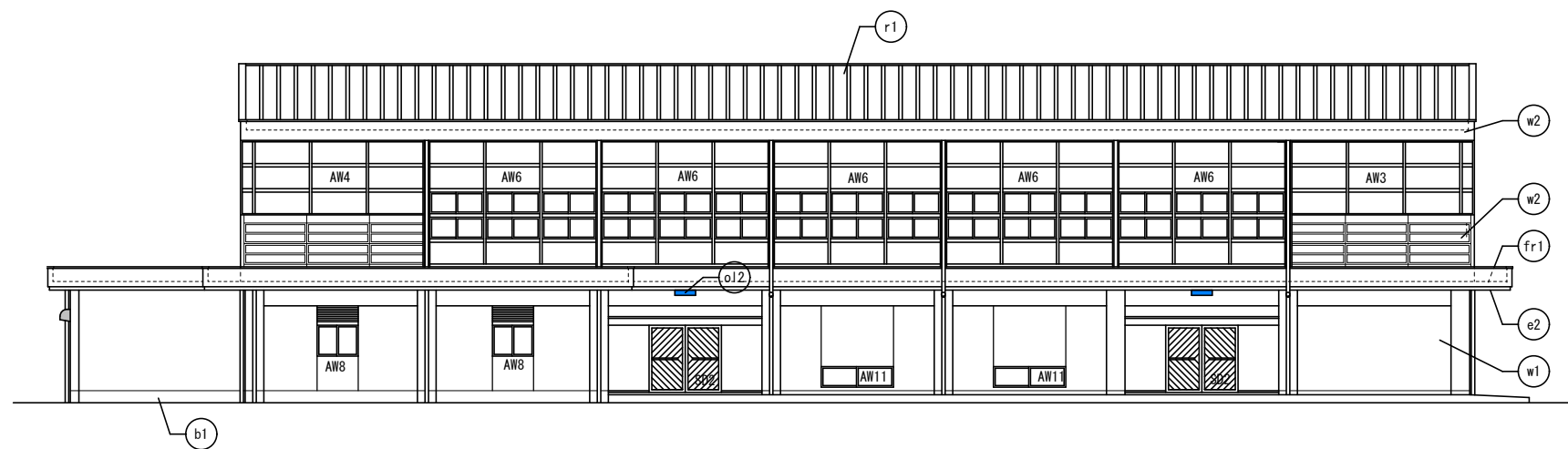


屋根伏図 1/200

title	drawing name	scale	date					no
脇之島小学校屋内運動場外壁等改修工事	吹抜平面図 屋根伏図	1/200 1/200	R5.9.5			〒507-0813 岐阜県多治見市滝呂町9-152-7 tel 0572-21-4618	一級建築士事務所 no.10566 大春建築工房 design labo 一級建築士 no.297623 インテリアプランナー 山田 敬志	A-11

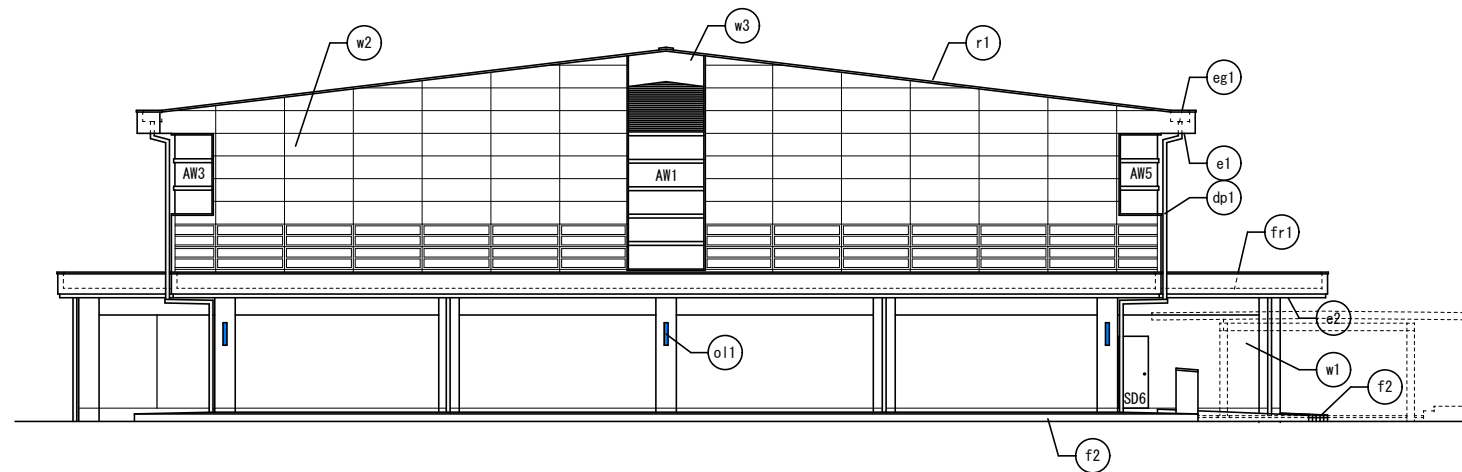


南側立面図 1/200

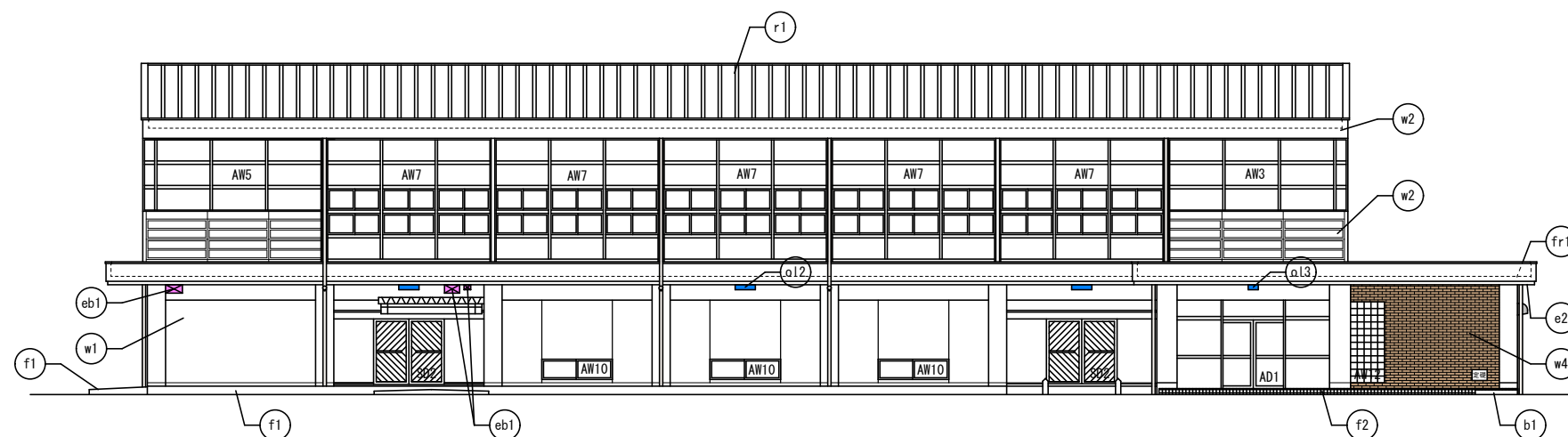


東側立面図 1/200

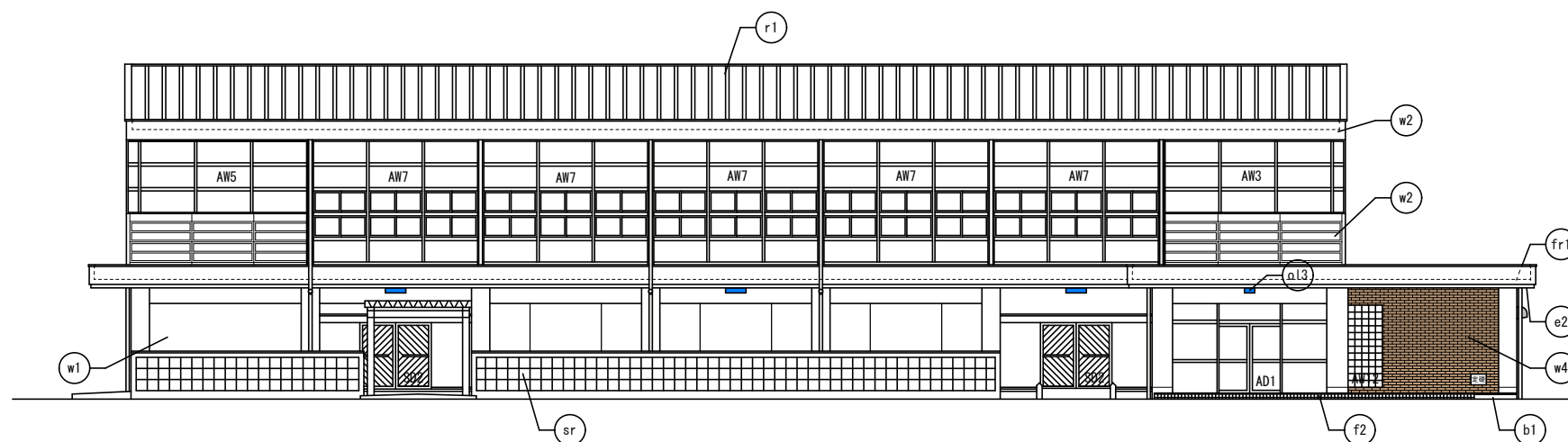
title	drawing name	scale	date			no
脇之島小学校屋内運動場外壁等改修工事	南側立面図 東側立面図	1/200 1/200	R5.9.5 R5.12.19		〒507-0813 岐阜県多治見市滝呂町9-152-7 tel 0572-21-4618	一級建築士事務所 no.10566 大春建築工房 design labo 一級建築士 no.297623 インテリアプランナー 山田敏志
						A-12



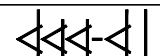
北側立面図 1/200

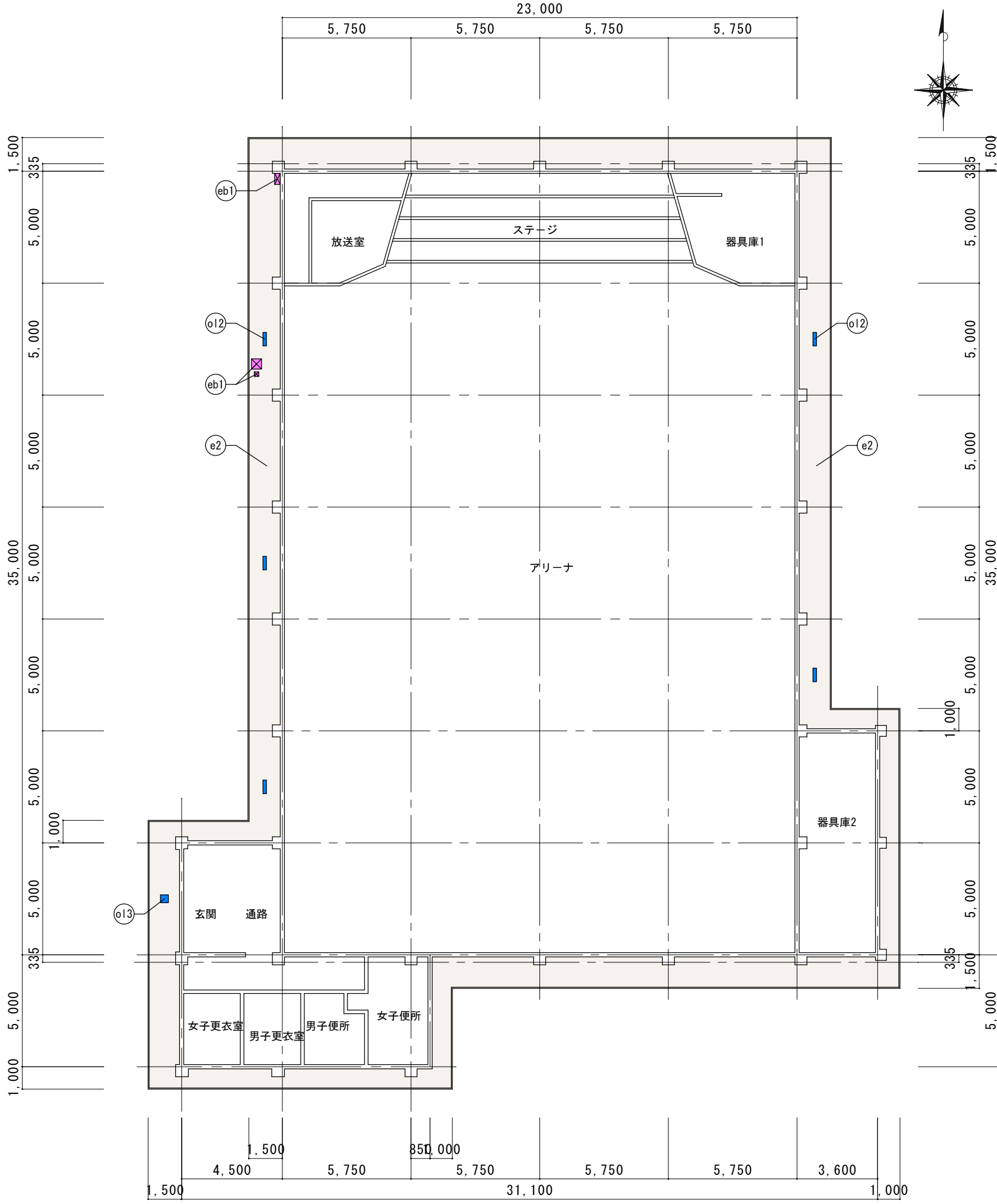


西側立面図 1/200

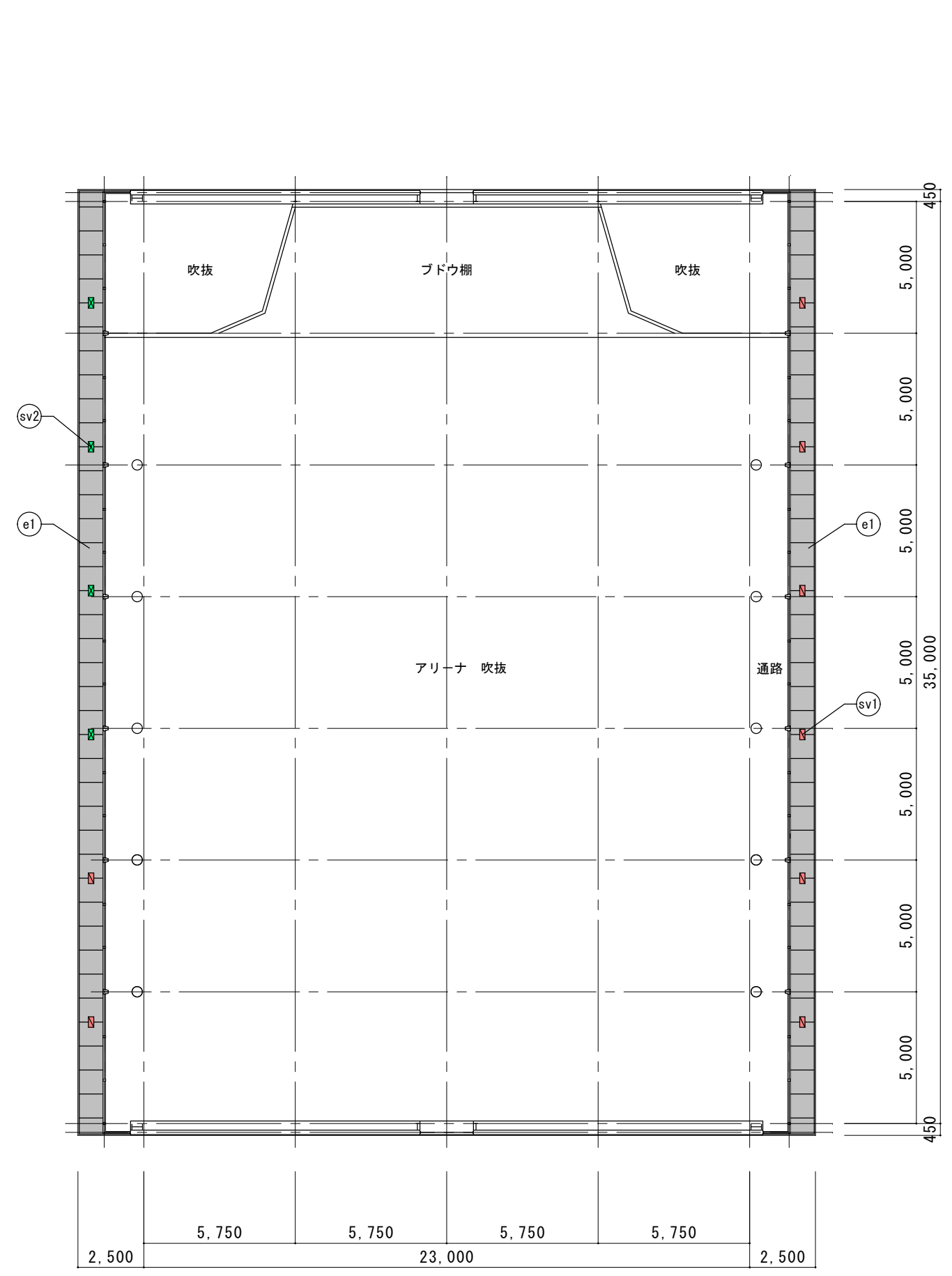


西側立面図 1/200

title	drawing name	scale	date			no
脇之島小学校屋内運動場外壁等改修工事	北側立面図 西側立面図	1/200 1/200	R5.9.5 R5.12.19		〒507-0813 岐阜県多治見市滝呂町9-152-7 tel 0572-21-4618	一級建築士事務所 no.10566 大春建築工房 design labo 一級建築士 no.297623 インテリアプランナー 山田敏志
						A-13

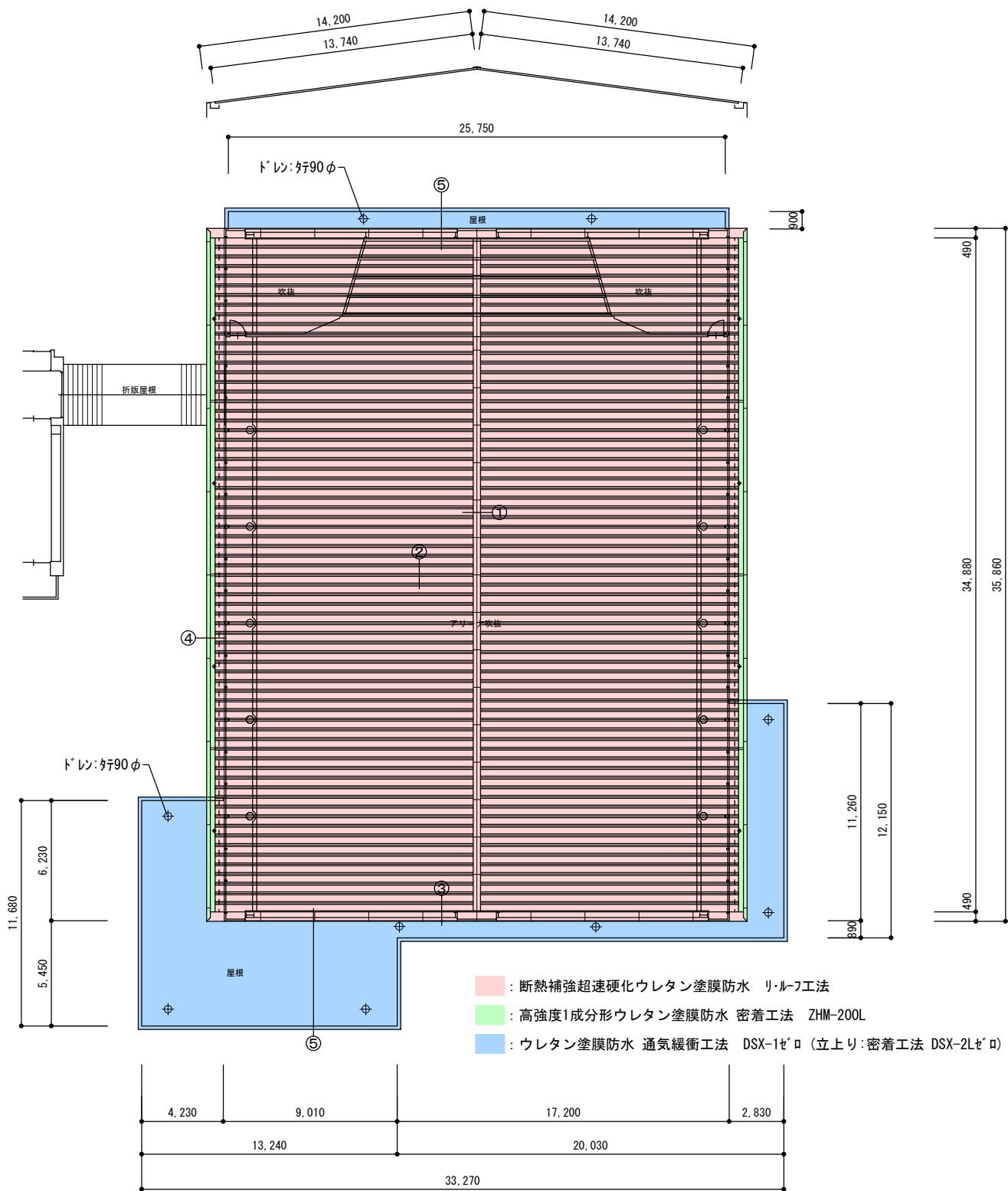


1 階天井伏図 1/200



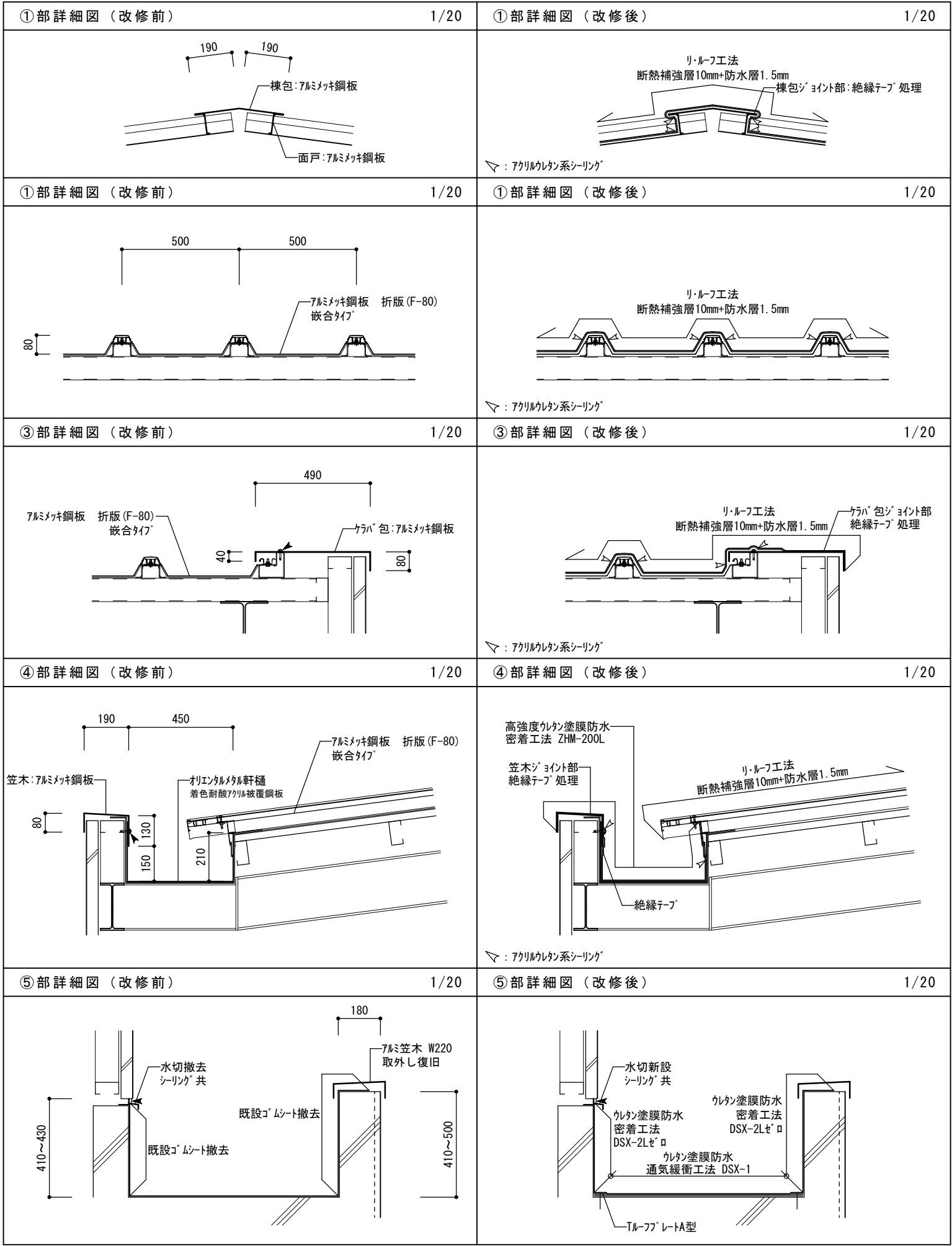
吹抜天井伏図 1/200

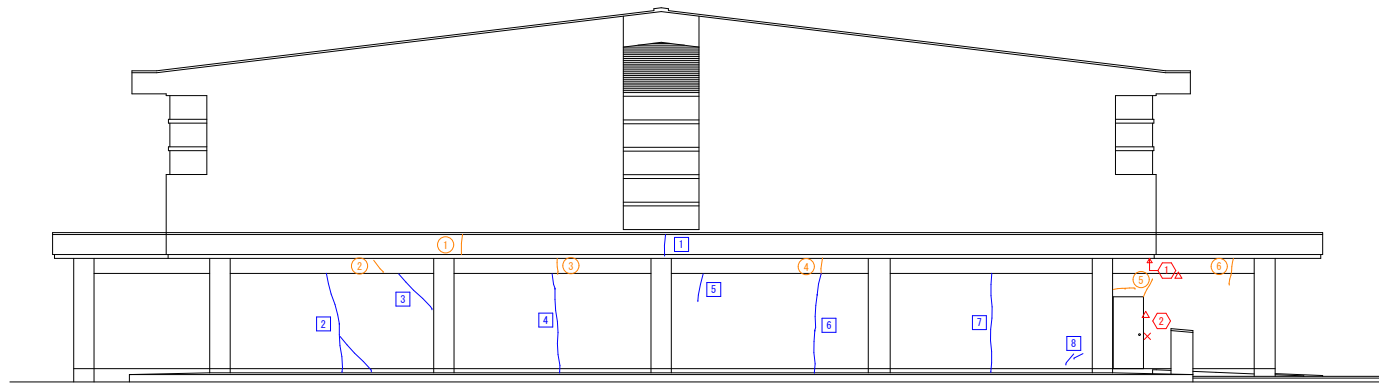
title	drawing name	scale	date		〒507-0813 岐阜県多治見市滝呂町9-152-7 tel 0572-21-4618	一級建築士事務所 no.10566 大春建築工房 design labo 一級建築士 no.297623 インテリアプランナー 山田敏志	no A-14
脇之島小学校屋内運動場外壁等改修工事	1 階天井伏図 吹抜天井伏図	1/200 1/200	R5.12.14				



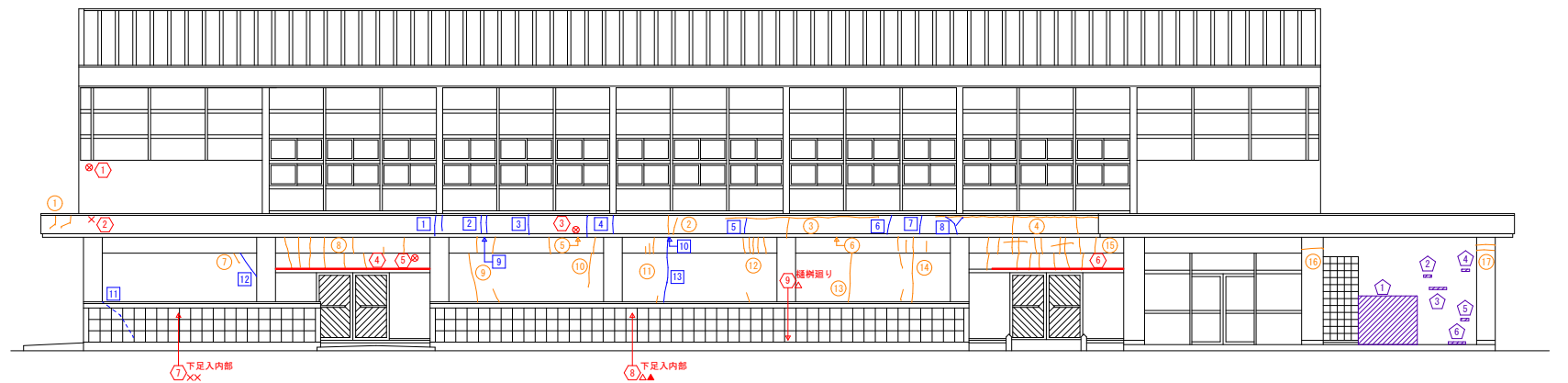
※ 本設計図の一部修正<多治見市追記> 詳細位置図 1/300

o11	6台	o12	5台	o13	1台
LGW80190LE1 [パナソニック] LEDブラケット 20形直管蛍光灯1灯器具相当 昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束1062lm、消費電力11W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、天井直付型・壁直付型、ツマミネジ方式 本体：プラスチック (ホワイト) カバー：アクリル (乳白)		LGW51704WCF1 [パナソニック] LEDシーリングライト 30形丸型蛍光灯1灯器具相当 昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束965lm、消費電力10.7W、電圧100V 防湿型・防雨型、拡散タイプ、ネジ込み方式 プラスチック (ホワイト) カバー：アクリル (乳白)			

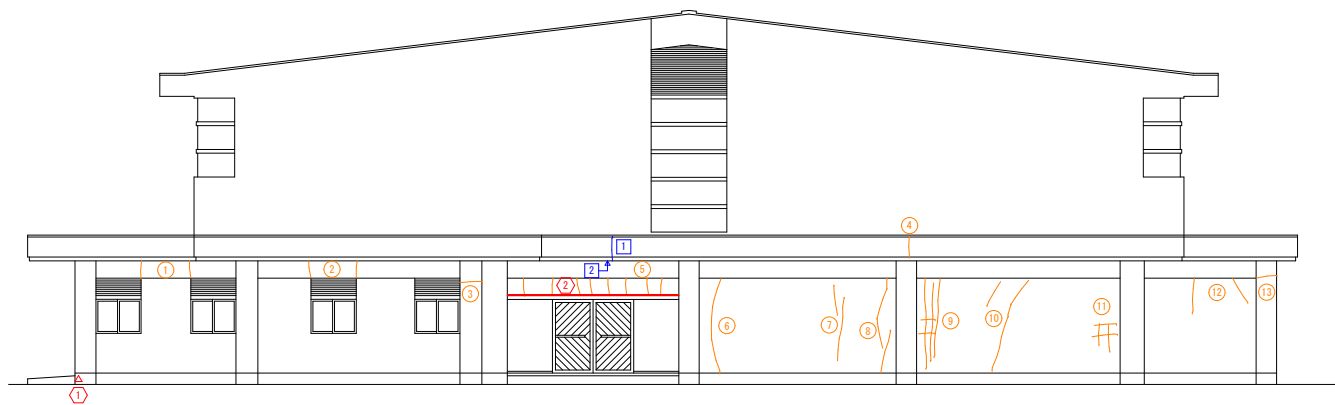




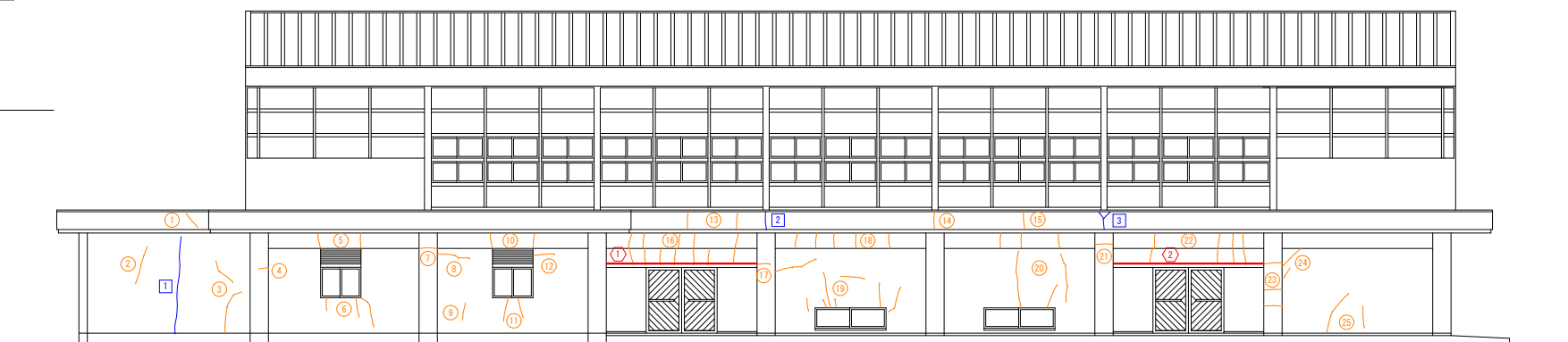
北側調査図 1/200



西側調査図 1/200



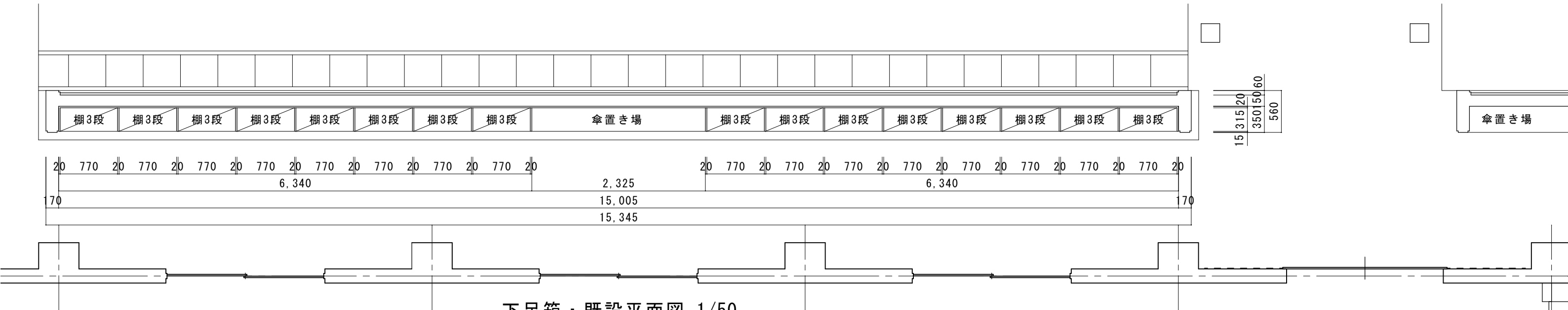
南側調査図 1/200



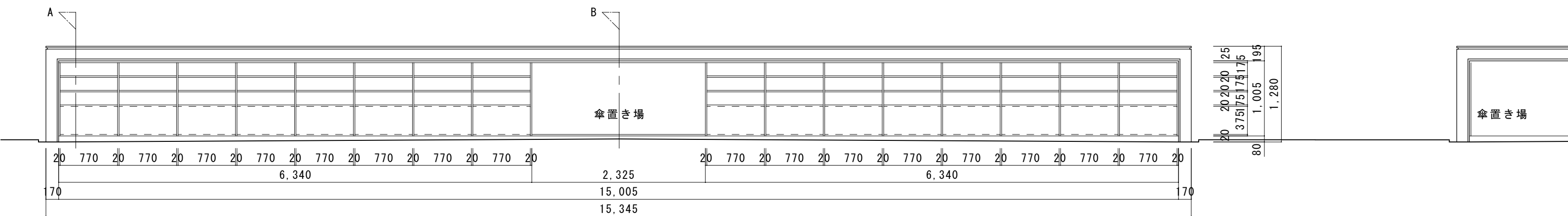
東側調査図 1/200

凡 例				
クラック0.2mm未満	— (No.)	欠損部 極小 50*50*10程度	⊗ (No.)	⬢ (No.)
クラック0.2mm以上1.0mm未満	— (No.)	欠損部 小 100*100*20程度	× (No.)	⬢ (No.)
クラック1.0mm以上	— (No.)	欠損部 中 200*100*30程度	△ (No.)	⬢ (No.)
タイル浮き部	▨ (No.)	欠損部 大 300*100*40程度	▲ (No.)	⬢ (No.)
		欠損部 特大	■ (No.)	⬢ (No.)

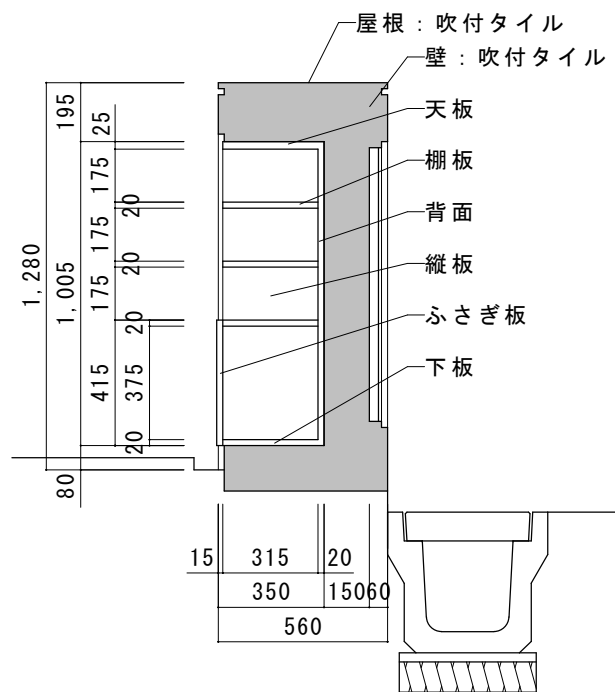
title	drawing name	scale	date				no
脇之島小学校屋内運動場外壁等改修工事	外壁調査図	1/200	R5.10.25		〒507-0813 岐阜県多治見市滝呂町9-152-7 tel 0572-21-4618	一級建築士事務所 no.10566 大春建築工房 design labo 一級建築士 no.297623 インテリアプランナー 山田 敏志	A-16



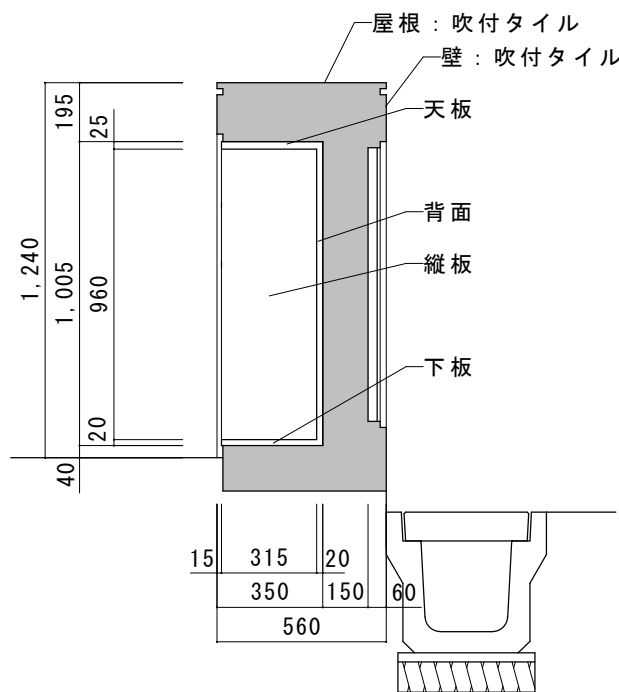
下足箱・既設平面図 1/50



下足箱・既設立面図 1/50



A断面図 1/25



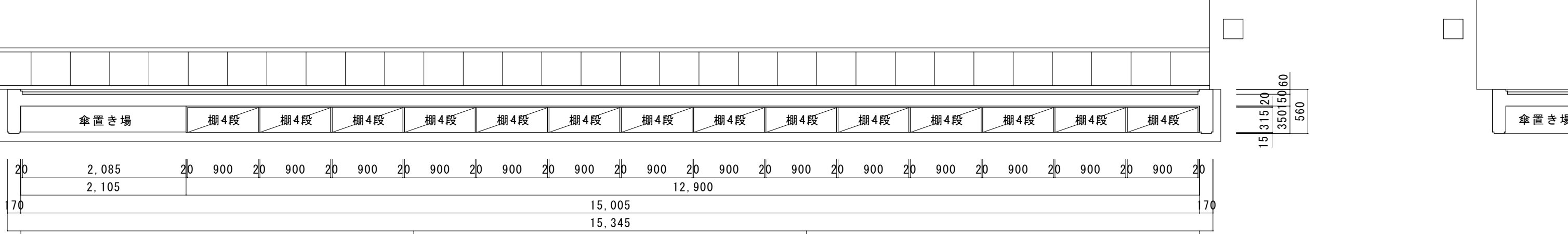
B断面図 1/25

□部材リスト

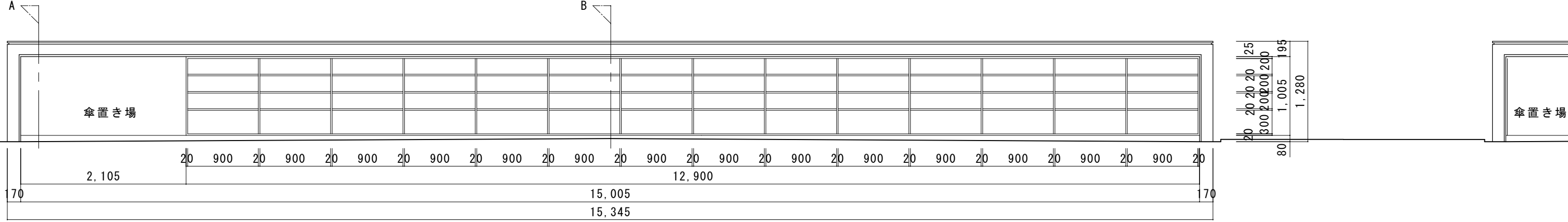
- 天板：シナ合板板t20.0 ラックニス
- 棚板：シナ合板板t20.0 @195 ラックニス
- 縦板：シナ合板板t20.0 @790 ラックニス
- ふさぎ板：シナ合板板t20.0 ラックニス
- 下板：シナ合板板t20.0 ラックニス
- 背面：シナ合板板t20.0 ラックニス

※ 本設計図の一部修正＜多治見市追記＞

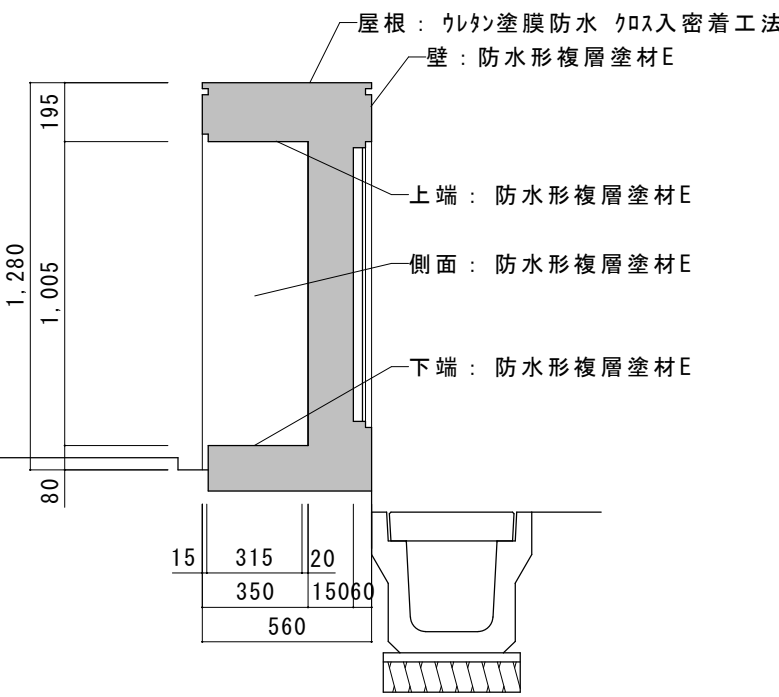
title	drawing name	scale	date		〒507-0813 岐阜県多治見市滝呂町9-152-7 tel 0572-21-4618	一級建築士事務所 no.10566 大春建築工房 design labo 一級建築士 no.297623 インテリアプランナー 山田敏志	no A-17
脇之島小学校屋内運動場外壁等改修工事	下足箱・既設平面図 既設立面図 断面図	1/50 1/25	R5.11.6				



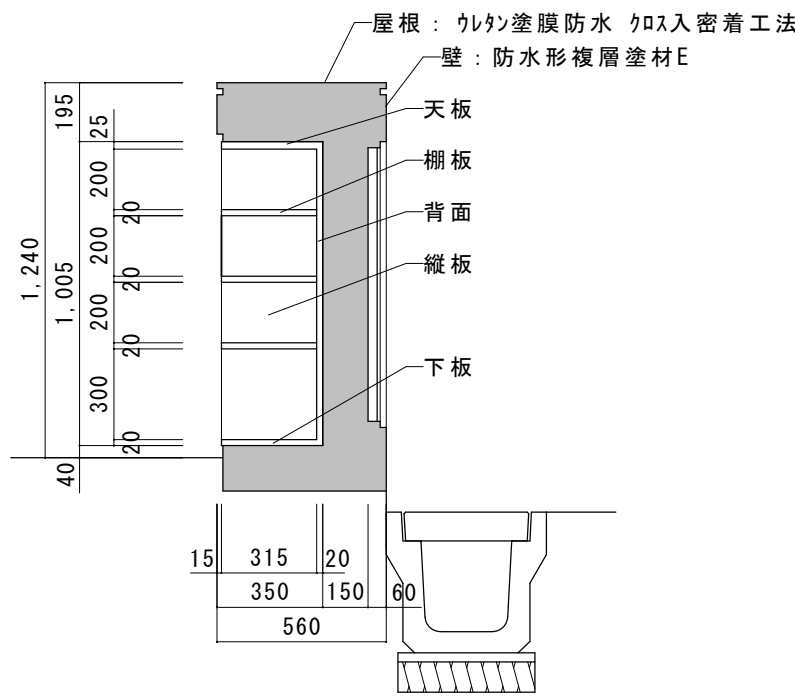
下足箱・計画平面図 1/50



下足箱・計画立面図 1/50



A断面図 1/25



B断面図 1/25

- 部材リスト
- 天板：積層板t25.0 WUP
- 棚板：積層板t20.0@220 WUP
- 縦板：積層板t20.0@920 WUP
- 下板：積層板t20.0 WUP
- 背面：合板t3.0+木材t17.0 WUP
- WUP：水性ウレタンクリア塗装
- 積層板：ゴム積層材

※ 本設計図の一部修正＜多治見市追記＞

title	drawing name	scale	date			no
脇之島小学校屋内運動場外壁等改修工事	下足箱・計画平面図 計画立面図 断面図	1/50 1/25	R5.11.13		〒507-0813 岐阜県多治見市滝呂町9-152-7 tel 0572-21-4618	A-18
				architects atelier design labo	一級建築士事務所 no.10566 大春建築工房 design labo 一級建築士 no.297623 インテリアプランナー 山田敏志	